

ぬくみ

生見地域環境保全隊

きいれぬくみちよう

(鹿児島県鹿児島市喜入生見町)

- 鹿児島県薩摩半島の南東部に位置し、温暖な気候に恵まれた水稻を基幹作物とした地域。農業者の高齢化及び担い手不足による遊休農地の増加が深刻化。
- 遊休農地の発生状況把握や草刈り等を実施し、遊休農地の解消・防止に取り組んでいる。
- 地域の農村振興に係る伝統芸能が盛んであり、生見小学校や他団体と積極的に連携し、伝統芸能の継承に寄与している。これらの影響を受け、近年では環境保全活動に関する地元の理解が深まっている。

【地区概要】

- ・取組面積：55.9ha
(田 44.6ha, 畑 11.3ha)
- ・資源量：水路 25.0km, 農道 19.9km
パイプライン 1.0km
- ・主な構成員：自治会, 農業者, 子供会
- ・交付金：約 248万円(R2)
農地維持支払 156万円
資源向上支払 92万円(共同)

活動開始前の状況や課題

- 耕作者の高齢化及び担い手不足に伴い、遊休農地になりうる農用地が増加している傾向にある。
- 環境保全活動に対する地域の理解不足があり、活動参加人数が少ない。
- 農道・水路等の保安全管理に対する担い手農家の負担増加。

【農用地等見回り(状況把握)】



取組内容

- 耕作予定がない土地に、ヒマワリ、コスモス等を植えることで遊休農地の発生を防止。(景観形成活動)
- 農業に興味・関心を持ってもらえるように、非農業者の方にも活動に参加をしてもらえそうな農村文化の伝承を通じた企画の実施。(地元周知)

【景観形成活動(コスモス)】



【伝統文化継承(おた踊り)】

取組の効果

【景観の向上】

遊休農地の発生防止に寄与し、地域環境の保全及び地域のイメージアップに貢献した。



JR指宿枕崎線沿いに植えられたコスモス

【地域の活性化】

農村文化に関する伝統行事である「おた踊り」「銭太鼓」や「かさど」を通じて、農村コミュニティの強化を促し、地域の活性化に貢献した。



非農業者(学童)の参加



農道の簡易補修



品評会

Step1 (~H24)

生見地域環境保全隊 結成前

○ 生見地域環境保全隊結成前は、「生見お田救会」として、農作業の受諾及び組合員の農業の共同化を通して生見地区の耕作放棄地の発生防止と農用地の有効活用、組合員の効率的かつ安定的な農業経営の実現を図ることを目的とし、活動。



景観形成及び遊休農地の防止

きっかけ

・耕作者の減少や高齢化による、遊休農地増加の懸念
・遊休農地を利用した、農村生活環境の保全・農村景観の形成

Step2 (H25~)

生見地域環境保全隊 結成

○ 組織の強化に取り組み、生見地域環境保全隊を結成。
○ 前身となる団体での地域環境の保全活動の強化に加え、地域伝統の継承に取り組む。



地域一体となって種植え
(遊休農地の有効活用)



台風後の現場確認及び泥上げ

Step3 (H26~)

多面的機能の増進を 図る活動の強化

○ 多面的支払交付金事業となることを受け、地域伝統の継承への取組を強化

「おた踊り」「銭太鼓」などを通じ、農村コミュニティの強化を促し、地域を活性化

→ 非農業者が農業に興味・関心を持ち、地域農業の担い手の育成・確保に繋がる。



おた踊りの披露

将来に向けて

多面的機能の増進を図る活動により、非農業者の参加人数が増える一方で、当初の課題である高齢化による耕作者の不足も年々増えきた。今まで活性化に向け活動に取り組んできたが、今後は、これまで行ってきた活動水準を維持していくことを目標に活動していく。

今後の展望

Step5 (H31~)

活動の更新

○ H25~H30の活動を通じて、農地環境保全や校区の活性化に寄与(H29年度「鹿児島地域づくり表彰」を受賞)



→ 組織として活動を継続

Step4

取組内容の向上

取組を通して、地域の一体化が図られ、農村環境の維持管理に対する取組内容が向上

- 遊休農地の解消
→ 景観形成に伴う土地の有効活用
- 農業施設の適正管理
→ 施設の簡易補修及び、日常管理の実施